



Make Dreams Real

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

□会長／見城 邦男 □副会長／川村 都孝

□幹事／杉山 寛 □副幹事／牧野 新頭

例会日：毎週月曜日 18:00～19:00

例会場：静岡グランドホテル中島屋

事務所：静岡市葵区伝馬町9-3 / TEL 054-254-5611

2008-2009年度RI会長 李 東建 / テーマ「夢をかたちに - Make Dreams Real -」

平成21年2月18日(水)

No.913
第985回 例会

ホームページ
アクセス数
2009.2.18
5946
2009.2.11
5905

静岡市内7クラブ合同例会

会場：ホテルアソシア静岡
ホストクラブ：静岡東ロータリークラブ
司会：鶴田定司様(静岡東RC副幹事)

♪ 本日のロータリーソング：「奉仕の理想」 ● ソングリーダー：曾根真人様(静岡東RC)

静岡東ロータリークラブ／曾根正弘会長あいさつ

「ロータリーの連帯感を大切に」



本日はご多忙の中、7クラブ合同例会に多数ご出席下さいまして誠に有難うございます。

毎年、合同例会を催す際に振り返ることになりますが、ロータリークラブの最初の会合は1905年2月23日に開かれましたので、今月で104周年を迎えました。

牧田ガバナーが常々言っておられます逸話ですが、かつてポール・ハリス自身が「ロータリーを作ったのは淋しかったからだ」ともらしたように、誕生したばかりの頃の規約は会員の親睦とお互いの職業上の互惠取引をすることの2つだけであったことは、ロータリー活動の原点を考える上で興味深いことだと思います。

その後、幾多のロータリアンによって磨きあげられてきた考え方や言葉がある中で、我々に共通する一番大切な志は「職業を通じて社会の役に立つ」ということなのだろうと思います。原点を意識し、我々の連帯感を大切にしつつ、職業を通じて社会の役に立つことが、基本的なあり方であると考えます。

さて、本日は7クラブ合同例会として、ゲスト卓話者に本年1月まで静岡県立大学学長を務められました西垣克先生をお迎えいたしました。西垣先生は終戦の年の2月に大阪市にお生まれになり、その後の転居で高校は福岡県立小倉高校をご卒業になり、東京大学医学部保健学科、そして東京大学大学院医学研究科博士課程を終えられ、保健学博士でいらっしゃいます。

主な職歴は過日お配りいたしましたお知らせにありますとおりですので省略いたしますが、静岡とのご縁は1997年に静岡県立大学看護学部教授に着任されてからで、2003年に一旦、日本福祉大学に転出され、2005年4月から静岡県立大学学長に就任されて先頃までお務めになりました。皆様へのご案内をさしあげた時点では現職でおられましたが、健康上の事情で、先月末にて辞職されたとのことでございます。

その西垣先生に今日は「不安な時代に、どう健康に生きるか」というテーマでお話をお願いしたのは私でございます。先生はご専門を通じて、静岡での地域医療や健康管理などの啓蒙的な活動を熱心に勧めてこられましたし、以前にはバングラデシュの病院のためにベッドを贈る活動を、さるロータリークラブと共同して行ったご経験もお持ちと伺いました。

数日前の新聞紙上で全国の地方公務員のうち平成19年度に「心の病」で長期間休んだ人は10年前のおよそ4倍に増えている、との記事を読みました。そんな世相の中で我々はどうやって健康を守り、人生を豊かに生きるか、今日の西垣先生のお話の中にヒントを得たいと願うところであります。

それでは西垣先生、よろしく願いいたします。

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 川村 一紀・鈴木 延幸・金丸 智昭・是永 俊晴・城塚 浩

ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~srcr2620/> メールアドレス srcr2620@leaf.ocn.ne.jp